

■ 専門科目

ひと・もの・くらし

生活文化論

2024年度開講・選択・2単位

Cultural Study of Life

担当教員 長野真紀

履修制限等

2023年度入学生限定

授業の目的と到達目標（学修成果）

現代の多様化した生活環境への意識や思考力を高めていくことを目的とする。環境と地域生活の視点から、人間生活を包括する環境と物の見方や生活行動、コミュニケーションの取り方を含めた文化の形成について考察し、論理的、複眼的に思考できる力を身につける。

授業計画の概要

人々が暮らしを営む地域・風土・環境には、人間の歴史である生活の歴史が蓄積し、生活者を取りまくその時代の社会や信仰、衣食住が深く関係している。また、各地域の多様な芸術文化、伝統文化、生活文化は、生活様式や社会構造の変容を受けながらも、場所性や民族的特性を保ち現在まで連続と受け継がれてきた。本講義では、日々の生活の中にある身近なモノから自然まで、環境と文化の文脈から暮らしのかたちを読み解いていく。

授業は講義と学外演習によって構成する。

人間工学論

後期・選択・2単位

Ergonomics

担当教員 笹崎綾野、見寺貞子、阪本清美

授業の目的と到達目標（学修成果）

人間工学の思考を育むため、体型特性、運動機能および身体負担、疲労・ストレスについて知り、人の形態・生理・心理特性に配慮したデザインを構想できる。

授業計画の概要

人間工学とは、人間が豊かな生活を営むため、使用する道具や機械、環境を効果的に使用できるように人の形態・生理・心理特性に合わせてデザインすることである。本講座では、年齢や国籍、障害の有無に関わらず誰もが快適に生活できるユニバーサルデザインの考え方を基に、人間工学の視点からデザインの在り方を講義し、個人およびグループワークの演習を取り入れながら実施する。

プロダクト構想プログラム

前期・選択・2単位

Products Concepting Program

担当教員 見明暢、蛭田直

履修制限等

Adobe Illustrator / Photoshop の基本操作を理解している学生向け
授業の目的と到達目標（学修成果）

目的：ユーザーを理解し、それらに即した用品を制作するという経験をさせる。プロダクトデザイン分野の基本的なデザイン手順を体験する。

参加者各分野の表現技法の融合に挑戦する。

目標：成果物は作品としてまとめプレゼンテーションを行う。

授業計画の概要

本プログラムでは、グループ形式で制作を行い、最終的にプロダクトデザインとしての作品を作成する。

本学大学院ならではの、デザイン、アート、クラフトなど様々な制作バックグラウンドを持った学生が共に学ぶ環境を活かし、それぞれのもつ制作技術を、共有、応用し、制作を行う。参加者同士でお互いの専門技法を理解し、自己の専門技術との融合を模索する。テーマに沿って案を出し、試作をしながら、最終提案物を作成する。

プロトタイプモデリング

2024年度開講・選択・2単位

Prototype Modeling

担当教員 田頭章徳

授業の目的と到達目標（学修成果）

より良い作品を生み出す手法として、試作を繰り返して検証・改善を繰り返す「プロトタイプング」を理解し、実践する。木材やテキスタイルの基礎的な材料知識と加工技術を身につける。

授業計画の概要

論理的な思考と直感的な感性の双方を必要とするモビールの制作を行う。

木材とテキスタイルを素材として、材料の特性や魅力を活かした構造・意匠を持った美しいモビールのデザインを目指す。

考えたものを形にして終わるのではなく、何度も試作 → 検証 → 改善を繰り返すプロトタイプングによって、自分の想像を超えた作品を生み出すことに挑戦する。